

中学生・高校生のネット利用の改善について

1 現在の取組

(1) 校内放送による啓発

県内すべての中学校、高校において、ネット利用の改善を呼びかけるメッセージを放送し啓発を図る。メッセンジャーは、福井市出身の元ボクシング世界チャンピオン清水智信氏。

(2) 校内ポスターによる啓発

県内すべての中学校、高校において、ネット利用の改善を呼びかけるポスターを教室等に掲示し啓発を図る。

(3) 生徒自身がスマホについて考えるホームルーム活動の実施

11月8日、春江工業高校において、生徒自身がネット依存、ネットいじめ等について考えるホームルーム活動をモデル授業として実施。

11月12日、グリー（株）等が作成した情報モラル授業教材の活用について研修会を実施。

各学校は、冬休みの前に生徒自身がスマホについて考えるホームルーム活動を実施し、ネット依存、ネットいじめ等の未然防止を図る。

2 高校生と大学生の交流による取組

大学生ボランティアが高校に出向き、自らの体験をもとに高校生と将来の夢や希望について語り合う場を設定。高校生自身が将来の夢や希望の達成に向けた身近な目標を持つことで、ネット以外に目を向けるよう働きかける。3月中旬に嶺北、嶺南の各1校で実施。

3 来春入学生に対する取組

2月以降の中学校新入生説明会や高校合格者登校日説明会において、「ネット依存」「ネットいじめ」「ネット犯罪」などのネットの危険性とその対策をまとめた冊子や映像を用いて、新入生および保護者に対して注意喚起を促す。冊子と映像は現在作成中。